

2学年通信

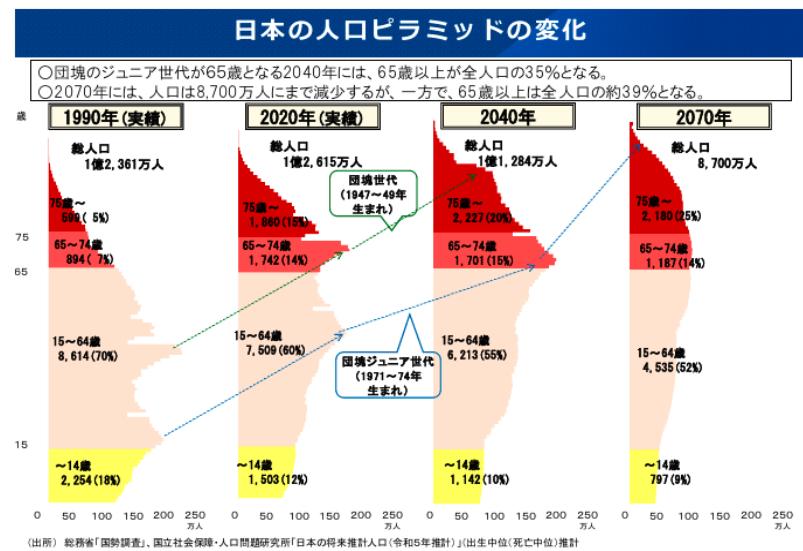
新宮町立新宮東中学校
令和7年11月19日 第66号
文責:江頭 俊輔

[福祉学習スタート！その前に福祉について知ろう！その4]

前回は少し具体的に新宮町で行われている福祉について確認しました。私も知らなかった部分がたくさんあり、福祉を含めて、情報は自分で調べることもとても大切だと感じました。今回は、その中でも高齢者の方に視点を当て、日本の人口の増減やそれに伴うその他の社会問題を見ていきましょう。

[少子高齢化]

テーマは少子高齢化です。少子高齢化とは出生率が低下する少子化と、平均寿命が延びる高齢化が同時に進行し、若年層の割合が減少し高齢者の割合が増加する社会現象です。



人口ピラミッド（縦：年齢、横：人数『万人』）の変化です。【厚生労働省 HP より】2040年には団塊ジュニア世代（1971～74年生まれ）の方々が65歳となり、全人口の35%となります。しかし、最下層の15歳以下の割合は年々減っています。これがグラフで見る『少子高齢化』です。私たちはみな、いずれ高齢となるので、この状況が「良い/悪い」という判断はありません。ただ、**福祉の視点で考えると高齢者のために働く人（介護職員を含めて）自体が増えていかないことが課題です。**これは次に挙げる高齢者の方々が抱えている①

～④の課題に大きく直結します。高齢者の方々だけの問題ではないことが分かると嬉しいです。

[高齢者の方々が抱えている課題]

①介護の課題

先ほども記述していますが、介護人材が不足しているのが大きな課題です。

②住居の課題

住居の老朽化やバリアフリー化の遅れによる住居の中での生活が困難になることも課題です。思い出すと私の祖父母の家にも年を重ねるごとに手すりが増え、スロープが増え、と新設するものが多くなっています。また**賃貸住宅への入居を「高齢者であること」を理由に断られるケース**もあるようです。

③運転免許の返納

高齢ドライバーによる事故防止という観点から、高齢者の方で自分から免許を返納する方も多いです。（私の祖父もそうでした。）ただし、地方の場合は、車は唯一の移動手段であり、**免許を返納すると交通手段がなくなり、外出の機会が減ることによって健康面への悪影響がある**ことも心配されています。

④孤独死・孤立死の問題

孤独死は「自宅で一人暮らしの人が亡くなり、長時間気付かれないこと」を一般的には指すようです。2023年の1年間に自宅で亡くなった一人暮らしの人数は約7万6千人で、死後7日以上経過して発見されたケースは約2万2千人でした。地域や近所、親族との日常的なつながりの大切さが分かります。